
隔週刊「農業文化マガジン『電子耕』」 第 360 号

—環境・農業・食べ物など情報の交流誌—

2013.11.07 (木) 発行 山崎農業研究所&編集同人

<キーワード>

環境・農業・健康・食べ物などの情報提供、高齢者と若者、農村と都市の
交流ミニコミ誌。山崎農業研究所&『電子耕』編集同人が編集・発行。

<http://www.yamazaki-i.org>

*****発行部数 1077 部*****

目次 -----

<巻頭言>

我々のする通りでなく、我々の言う通りに——TPP の正体 小泉浩郎

<イベント情報>

山崎農業研究所=第 146 回 定例(現地)研究会(11/06)のご案内

テーマ:里山再生と食の安全—放射能汚染と戦う原木しいたけ栽培—

<お知らせ> 山崎農業研究所所報『耕 No.131』発行されました

<編集後記> 「伝統回帰」の時代

<巻頭言> 我々のする通りでなく、我々の言う通りに——TPP の正体

「アメリカ強硬姿勢、自動車輸入関税撤廃 20 年先強まる(読売 11/5)」。アメリカは、日本にとって最大の自動車輸出国である。

TPP 参加のメリットを「日本の優れた工業製品などが輸出しやすくなり、その結果として、国内の雇用や収入にも好影響を与えることが期待できる(政府 Q&A)」とし、また、本年 3 月の政府試算では農林水産物の 3 兆円の犠牲の上で経済全体で 3.2 兆円の底上げが可能とした。現行の日本車に対するアメリカの関税は乗用車 2.5%、トラック 25%である。それらの関税撤廃まで 20 年かかるとすれば、輸出のメリットは大幅に減少、わが国の TPP 参加の前提は全面的崩壊する。この強硬姿勢の背景は、米自動車大手 3 社で構成する米自動車政策会議(AAPC)だという。輸入関税撤廃期間を 25~30 年後まで、日本政府の円安誘導を禁止する条項を強く要求してきた(2013/7/2 ロイター)。

TPP 交渉において「守るべきものを守り、攻めるべきものは攻める(参院線選挙公約)」としながら「我々(アメリカ)の言う通り」の道に、ずるずると引き込まれている。

(1)米国産牛肉の輸入規制緩和 (2013/2)、(2)「聖域」とした重要農産物コメ、麦、乳製品等 5 項目の細目の見直しと関税可能性の検討 (11/10 自民党)、(3)簡保生命とアフラック (アメリカ大手保険会社) との業務協定 (7/26)、(4)TPP 参加に向け農業の成長戦略、中小農家の切捨てと米の減反政策 5 年後の廃止 (11/6 与党合意)

報道で知りえた情報だけでも、これだけの問題が浮上している。まだ、TPP 交渉の俎上にもない問題が、アメリカのする通りでなく、アメリカの言う通りに進んでいる。誰のための何のための TPP か、もう多くを語る必要が無いように思う。

小泉浩郎
山崎農業研究所事務局長
yamazaki@yamazaki-i.org

<イベント情報>

山崎農業研究所＝第 146 回 定例 (現地) 研究会 (11/06) のご案内
テーマ：里山再生と食の安全ー放射能汚染と戦う原木しいたけ栽培ー

【日時】 11 月 16 日 (土) 12 : 00～16 : 30

【場所】「なかのきのこ園」(茨城県つくば市谷田部 飯泉孝司代表)

<http://www.nakano-kinoko.jp/>

筑波山の麓、原木しいたけ栽培、本物にこだわる 40 年、原木本数と生産量は日本一、それが「なかのきのこ園」である。3.11 原発事故は、里山を汚染し原木の供給を不能とした。出口が見えない放射能との戦いが続いた。そのなかから自然・農・食の本来の姿を求め「里山の再生と食の安全」に取り組みを始めた。そこには、TPP の不条理を読み解く鍵もある。

【集合】つくばエクスプレス ; みどりの駅

・ 11 : 45 集合 乗用車分乗で会食会場へ

参考……つくばエクスプレス 「秋葉原」 → 「みどりの」 時刻表

(10 : 45－11 : 29, 10 : 52－11 : 45, 11 : 15－11 : 59)

【参加費】 500 円 【昼食費】 各自負担

【スケジュール】

・ 12 : 00 ~ 13 : 00

昼食（しいたけ BBQ、しいたけ農家との会食）

・ 13 : 00 ~ 14 : 30

(1) しいたけ栽培現場の見学

（施設、原木からの植生、原木の放射性物質除染装置など）

(2) 里山（森）の散策

・ 14 : 30 ~ 16 : 00

(1) 生産者のお話

(2) 識者のコメント

・ 16 : 00 ~ 16 : 30

話し合い 解散（16 : 30）

【参加申し込み】

参加希望者は事前に下記へご連絡下さい。

TEL : 03-3357-5916（益永） e-Mail : y.masunaga@ntc-c.co.jp

<お知らせ> 山崎農業研究所所報『耕 No.131』発行されました

山崎農業研究所所報『耕 No.130』が発行されました。

ご希望の方には雑誌を頒布（有料：1,000円）いたします。

yamazaki@yamazaki-i.org

までご連絡ください。

《土と太陽と》（巻頭言）

こうしてこの「くに」は変わるのか— TPP 交渉の行方◎小泉浩郎

第 37 回山崎記念農業賞贈呈式（長野県辰野町・倉澤久人）

〔選考委員報告〕◎田口 均

〔山崎記念農業賞を受賞して〕◎倉澤久人

〔お祝いの言葉〕◎月岡道孝

総会記念講演：電力需要に応える再生可能エネルギー

I ローカルエネルギーの現状と展望◎渡邊 博

II 小水力発電の現状と課題◎新谷和夫

[第145回定例研究会] TPP交渉参加を問う——選択肢はTPPだけか？

I TPP反対運動について——米韓FTAから何を学ぶか◎金 哲洙

II ラテンアメリカの「より良く生きる

(vivre bien) 運動」に学ぶ◎吉田太郎

特別寄稿：TPP問題へのもうひとつの視座

- ・日本とアジア諸国が進むべきはアメリカ式の

「通商国家」への道ではない◎中島紀一

- ・ナショナルな価値と在所の価値との断絶、

原理主義の希望◎宇根 豊

〈TPP参加交渉に思う〉

TPPは農村を元気にするか*寒河江 巖／振り上げた拳はどこへ*大河原幸一／

息苦しい未来への心配*多田 敦／酪農・乳業での経済一体化の方向への新たな

方策*石川秀勇／ぶれない農の営みを続けたい*北村 誠

〈随感〉2011.3.11 東京に一番近い原発・東海第二で

何があったのか…／塩谷哲夫

<編集後記> 「ストレス」に思う

養生法の探求

<http://kouhakudou.blog.fc2.com/>

という、静岡県牧之原市在住の鍼灸指圧師・今村光臣さんのブログに影響されて「温灸」をはじめてから2か月ちかくになる。今村さんは3.11後、放射能による内部被爆を防ぐため鍼灸指圧師という立場から何かできないかと必死に模索しブログ上で発言を続けてきた。

温灸をすると、ヒートショックプロテイン（HSP、熱ショック蛋白質、ストレス防御タンパク質）が体内に旺盛に出現する。HSPはさまざまなストレス（ストレスを生物に与える何らかの刺激）で傷ついた体内のタンパク質を修復し、元どおりに再生し、必要があれば解体する。生体防御の重要な役目を担う

タンパク質である。また HSP が発現することで、免疫細胞である NK (ナチュラルキラー) 細胞が活性化するという。「温灸＝熱ショック」というストレスによって、人間の自然治癒力が作動する、という理屈らしい。

わたしが最近はじめたものもうひとつが「糠漬け」だ。スーパーの店頭で「糠漬けキット」を入手し自家製の漬物を楽しんでいる。糠みそをかき回すと、それによって糠床の環境が変わり（嫌気状態から好気状態へ）、それによって乳酸菌が乳酸を分泌する。その分泌は、人間のためではなく、菌にとっての環境変化＝ストレスへの対抗手段である。だが、それが人間にも役立つというのがなんとも面白い。

ところで、特定機密保護法案の国会審議がはじまった。外交や防衛に関する「特定機密」を時の政府が指定し、漏洩した公務員は処罰する。法案では公務員のみが対象とされているが、その範囲は一般市民にも広がるのではと危惧されており、「平成の治安維持法か？」とも言われている。TPP とともになぜか安倍政権が思い切り力を入れているのだが、そういう話を聞くだけでストレスがたまってくる。

「ストレス」をバネにして自己治癒力がはたらくのは、自然の摂理のようである。だが、自由な発言が制限される、身の回りから健全な農や食がなくなっていく——そんなストレスは心底御免だ。

2013年11月07日

山崎農業研究所会員・田口 均

yamazaki@yamazaki-i.org

山崎農業研究所編・発行／農山漁村文化協会発売

『自給再考——グローバリゼーションの次は何か』

(発売：2008/11 定価：1,575円)

http://shop.ruralnet.or.jp/b_no=01_4540082955/

たくさんの書評・紹介記事をいただいています。感謝・感謝です。

◎辻信一さん（文化人類学者、ナマケモノ倶楽部世話人。明治学院大学教授）

グローバルの次は何？ ～卒業するゼミ生諸君へ

<http://www.sloth.gr.jp/tsuji/library/column64.html>

- ◎戒谷徹也さん（大地を守る会）
ブログ：大地を守る会のエビちゃん日記 “あんしんはしんどい”
「自給率」の前に、「自給」の意味を
<http://www.daichi.or.jp/blog/ebichan/2008/12/16/>
- ◎吉田太郎さん（長野県農業大学校教授、執筆者）
キューバ有機農業ブログ 自給再考の本が出ました
http://pub.ne.jp/cubaorganic/?entry_id=1822182
- ◎関良基さん（拓殖大学政経学部）
ブログ：代替案 書評：『自給再考 ―グローバル化の次は何か』
<http://blog.goo.ne.jp/reforestation/e/cb22650fa39384bdd22b61440fa81fa0>
- ◎大内正伸さん（イラストレーター・ライター）
ブログ：神流アトリエ日記 (3) 「書評『自給再考』」
<http://sun.ap.teacup.com/applet/tamarin/20081204/archive>
- ◎ブログ：本に溺れたい グローバリゼーションの次は何か
<http://renqing.cocolog-nifty.com/bookjunkie/2009/01/post-841e.html>
- ◎森川辰夫さん
NPO 法人 農と人とくらし研究センター／資料情報
<http://www.rircl.jp/shiryo.htm>
- ◎日本農業新聞／書評
(2009/01/19 評者：日本農業新聞編集委員 山田優)
<http://yamazaki-i.org/>
(画面トップの「書評はこちらから」よりアクセス下さい)
- ◎小谷敏さん（大妻女子大学）
日本海新聞コラム「潮流」／「自給」の方へ（2009/01/31）
<http://blog.goo.ne.jp/binbin1956/e/c895f6619b30ba7725e264b4daa75219>
- ◎白崎一裕さん（(株) 共に生きるために）
月刊とちぎV ネットボランティア情報 vol.158／しみん文庫
<http://yamazaki-i.org/>
(画面トップの「書評はこちらから」よりアクセス下さい)
- ◎塩見直紀さん（半農半X研究所、執筆者）
ブログ：半農半Xという生き方～スローレボリューションでいこう！
立国集。
<http://plaza.rakuten.co.jp/simpleandmission/diary/200812270000/>

◎お願い「<読者の声>の投稿規定・メールの書き方」

-
- 1、件名（見出し）を必ず書いて下さい。「はじめまして」は省略して、言いたいことを具体的に。
 - 2、氏名・ハンドルネームは、文末ではなく始めのほうに。
 - 3、1回1テーマ、10行位に。
 - 4、ホームページを持っている人は、文末に URL を。
 - 5、JIS X0208 規格外の文字（機種依存文字）のチェックを。

<http://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/networks/check/jisx0208.html>

インターネットで使えない丸数字や半角カタカナ、括弧入り略号などは文字化けの原因です。

次回 361 号の締め切りは 11 月 18 日、発行は 11 月 21 日の予定です。

<本誌記事の無断転載を禁じます>

隔週刊「農業文化マガジン『電子耕』」 第 360 号

最新号・バックナンバーの閲覧

<http://archive.mag2.com/0000014872/index.html>

<http://nazuna.com/tom/denshico.html>

購読申し込み／解除案内

<http://www.yamazaki-i.org>

2013.11.07（木）発行 山崎農業研究所&編集同人

<mailto:yamazaki@yamazaki-i.org>

***** ここまで『電子耕』 *****